

第4回 洋光台まちづくりアンケートについて

「洋光台まちづくりアンケート」はまちの評価・満足度をさまざまな角度から捉え、ルネッサンス in 洋光台等の取り組みの効果の検証を目的として、2013年（第1回）より概ね3年ごとに実施している。

●洋光台まちづくりアンケートの基本的ねらい

- ・「まちの評価」を定点観測的に捉えることで効果検証をする
→定点設問
- ・その時々の特ピック的事業・施策への反応を捉える
→前回は洋光台中央団地広場の利用状況・整備による変化、まちまどの認知度・利用状況を問う

●第4回アンケートのねらい

- ① （これまでの整備に対する）全体的なまちの変化について
- ② 洋光台中央団地広場の利用状況（頻度・目的）の変化（前回との比較）
- ③ 洋光台北団地・1街区集会所周辺整備（2020）への反応
- ④ 将来的な洋光台駅前エリアの整備に関する意向・ニーズなど
- ⑤ 「まちまど」の効果

●調査対象・配布方法等

調査対象：洋光台1～6丁目 12,319世帯 + 県営日野団地 770戸
計 約 13,100世帯

※洋光台1～6丁目世帯数は2022年8月・住民基本台帳による

配布方法：ポスティングによる全戸配布（無記名・郵送回収）

回答方法：無記名・郵送回収 および WEB 回答

※WEB 回答は第4回にて初の取り組み

調査票配布：2023年5月8日～5月30日

回答締切：2023年6月16日

<参考>

	配布数	回収数	回収率	配布時期
第1回	10,800票	1,721票	15.90%	2013年7月
第2回	11,489票	1,346票	11.70%	2016年7～8月
第3回	12,206票	2,101票	17.2%	2019年11月、 2020年2月

※第3回：11月配布時に配布漏れが多数あったため、2月に再度配布

●有識者

アンケート設問項目、分析等について、第3回アンケートから引き続き、横浜国立大学鶴見裕之教授、有吉亮特任准教授に協力を依頼。

第4回 洋光台まちづくりアンケート

● 調査のお願い

この調査は、洋光台地区（洋光台 1～6丁目+県営日野団地）にお住まいの皆様には、現在のまちに対して普段感じていることや、まちへの評価を様々な視点からお聞きするものです。平成25年に第1回調査、平成28年に第2回調査、令和元年に第3回調査を行い、今年（令和5年）が第4回調査となります。

建設から約50年以上経過した洋光台地区が、今後も活気のある魅力的なまちであり続けるために、洋光台地区で継続的に調査を行い、より効果的なまちづくりのために役立てていきます。

なお、UR都市機構・横浜市が共同で実施するものです。

ご回答いただきました調査票は、個人情報保護法にのっとり、データの取り扱いには細心の注意を払うとともに、すべて統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。調査票は集計が済み次第、責任をもって処分するとともに、調査結果の速報を公表します。

ご多忙中誠に恐れ入りますが、この調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

● 回答方法・締切について

- ・ 回答方法は、①アンケート票に回答を直接記入する方法と、②WEB上で回答する方法の2種類あります。
- ・ 回答は世帯主など成人の方にお願います。回答者様ご自身のお考えをご記入ください。

① 回答をアンケート票に記入する場合

- ・ 同封のアンケート票に回答をご記入ください。
- ・ お手数をおかけして誠に恐縮ですが、**6月16日(金)**までに、アンケート票（回答者プレゼントにご応募の方は応募券も）を同封の返信用封筒に入れ、ご返送頂けますようお願い申し上げます。切手は不要です。

② WEB上で回答する場合

- ・ 右記QRコードまたは下記URLから回答ページにアクセスしてください。

回答ページ URL : <https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/ursurvey/2023/>

- ・ 回答は1世帯につき1回答となるようご協力ください。
- ・ 回答締切は、**6月16日(金)**までとさせていただきます。6月17日(土)0時以降は回答することができません。ご注意ください。
- ・ 回答者プレゼントはWEB上で申し込みすることができます。



裏面もお読みください

封入物・結果公表・回答者
プレゼント等のご案内

● 封入物

アンケート票・返信用封筒をはじめとしてさまざまなものを同封しています。足りないものがございましたらお手数ですが表面に記載の事務局までご連絡ください。

- | | |
|------------------|---------------|
| ① 調査の概要とお願い（本文書） | ⑥ プレゼント応募案内 |
| ② アンケート票 | ⑦ 「まちまど」 ちらし |
| ③ アンケート票 別紙 | ⑧ 「脱炭素啓発」 ちらし |
| ④ 洋光台でのさまざまな取り組み | ⑨ 返信用封筒 |
| ⑤ 第3回アンケート結果 | |

● 結果の公表について

調査結果の速報は「洋光台クラフトマルシェ」や「CC ラボ」にて令和5年11月～12頃に公表予定です。

公表準備ができましたら自治会・町内会の掲示板等でお知らせします。

● 回答者プレゼントの実施について

アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で50名の方にプレゼントをお送りします。

本アンケートは無記名で実施するため、プレゼント抽選をご希望の方は、別途申し込みが必要となります。詳細は別紙「プレゼント応募案内」をご確認ください。

【調査主体】 横浜市、UR 都市機構

ご不明点等がございましたら、下記までお問い合わせください。

（事務局） UR 都市機構 東日本賃貸住宅本部 神奈川エリア経営部 担当：山岡・柴田

Tel：045-274-9253

（調査受託者、アンケート票送付先）株式会社ディーワーク

（協力）洋光台まちづくり協議会 洋光台連合自治町内会

洋光台のまちと暮らしをより良くするために
ご協力、よろしくお願いいたします。

問 6-2：【交通手段】洋光台地区内で、最も頻繁に使う交通手段（○はひとつ）

1・徒歩 2・自転車 3・自家用車 4・バス 5・その他 []

問 7：あなたは、隣近所と普段どのような付き合い方をしていますか。（○はひとつ）

- 1・顔もよく知らない 2・道で会えば挨拶ぐらひはする
 3・たまに立ち話をする 4・一緒に買い物にいたり、気の合う人と親しくしている
 5・困ったとき、相談したり助け合ったりする

ここからは、あなたが日頃感じていることについて教えてください。

問 8：現在の洋光台のまちに関して、あなたはどのように感じていますか。以下それぞれの項目に関して、当てはまる番号に○をお付けください。（○はひとつ）

記入例

ア・イ・ウ・エ・オのそれぞれの列でひとつに○をつけてください

ア. 防災訓練等がさかん、災害に備える意識が高いまち	1	・	②	・	3	・	4
イ. 災害時に役立ちそうな避難場所・拠点が身近にあるまち	1	・	2	・	③	・	4

A 安心・安全（防災・防犯・交通）

そう思う
 そう思う
 まあ
 思わない
 あまりそう
 思わない
 そう

ア. 防災訓練等がさかん、災害に備える意識が高いまち	1	・	2	・	3	・	4
イ. 災害時に役立ちそうな避難場所・拠点が身近にあるまち	1	・	2	・	3	・	4
ウ. 防犯パトロールなど、安心・安全のための活動がさかんなまち	1	・	2	・	3	・	4
エ. 歩道が整備され、人を第一にした交通環境をもつまち	1	・	2	・	3	・	4
オ.（総合的に）洋光台地区は、安心・安全な暮らしができるまち	1	・	2	・	3	・	4

B 街並みや自然環境

ア. 整然とした街並みが魅力的なまち	1	・	2	・	3	・	4
イ. 公園や街路樹、住宅の庭など、緑豊かな景観のまち	1	・	2	・	3	・	4
ウ. ゆったりとのどかな雰囲気	1	・	2	・	3	・	4
エ. プレイパークやトンボ池など、自然を楽しむ活動ができるまち	1	・	2	・	3	・	4
オ.（総合的に）洋光台地区は、街並み・自然環境を誇れるまち	1	・	2	・	3	・	4

C 街の賑わいや利便性

ア. 駅を中心にした賑わいがあるまち	1	・	2	・	3	・	4
イ. 買い物に便利で、商業・娯楽施設がたくさんあるまち	1	・	2	・	3	・	4
ウ. バスで移動しやすいまち	1	・	2	・	3	・	4
エ. 自転車で移動しやすいまち	1	・	2	・	3	・	4
オ.（総合的に）洋光台地区は、賑わいと活気があり、便利なまち	1	・	2	・	3	・	4

問 10：洋光台中央団地の広場（2018年リニューアル）についてお答えください

問 10-1：広場を利用する頻度を教えてください。（○はひとつ）

1・ほぼ毎日 2・週に1,2回 3・月に数回 4・年に数回 5・あまり利用しない

問 10-2：広場をどのような時に利用しますか。（○はいくつでも）

1・通行（通勤等） 2・（広場の店舗での）買物 3・（広場の店舗での）飲食
4・広場でのイベント 5・利用しない 6・その他 []

問 11：洋光台北団地集会所周辺（2020年リニューアル）についてお答えください。

問 11-1：集会所前サンクンガーデンや芝生広場を利用する頻度を教えてください。（○はひとつ）

1・ほぼ毎日 2・週に1,2回 3・月に数回 4・年に数回
5・あまり利用しない 6・リニューアルを知らなかった・今回初めて知った

問 11-2：集会所前サンクンガーデンや芝生広場をどのような時に利用しますか。

（○はいくつでも）

1・通行 2・くつろぐ・遊ぶ 3・カフェでの飲食・買い物 4・運動・体操
5・広場などでのイベント 6・利用しない 7・その他 []

問 11-3：北団地のリニューアルで変化したことや感想をお聞かせください。（○はいくつでも）

1・広場に行く機会が増えた 2・歩きやすくなった 3・憩える場所ができた
4・交流の場所が増えた 5・愛着を感じる場所ができた 6・特に変化はない
7・その他 []

問 12：洋光台中央団地にある「まちまど」「CCラボ」についてお答えください。

問 12-1：「まちまど」「CCラボ」をご存知でしたか。（○はひとつ）

1・知っている 2・知らなかった

（1に○を付けた方のみ）

問 12-2：何をきっかけに知りましたか。（○はひとつ）

1・たまたま通りかかった 2・知人等からの紹介 3・店舗・公共施設からの紹介
4・ホームページ 5・Facebook 6・Instagram 7・Twitter 8・ちらし
9・その他 []

問 12-3：「まちまど」「CCラボ」を利用したことはありますか。（○はひとつ）

1・ある 2・ない

問 12-4：「まちまど」「CC ラボ」を利用した感想や利用したときのエピソードなど、ご自由にお書きください。

ここからは、洋光台駅前エリア（別紙参照）の将来像についてお伺いします。

問 13: 前回のアンケートの自由意見から、洋光台駅前エリアの将来像や必要なものをあげました。

それぞれの項目に関して、あなたの考えに近い番号に○をお付けください。（○はひとつ）

		望ましい	やや望ましい	どちらとも いえない	望ましくない やや	望ましくない
洋光台駅前エリアの将来像	① 広場や緑のなかに店舗が点在するような、ゆったりとした適度なにぎわいのあるエリア	1	2	3	4	5
	② 港南台や上大岡のように、駅ビルや複合施設がある、にぎわいと活気のあるエリア	1	2	3	4	5
	③ 若い世帯・子育て層にアピールする魅力や、使いやすさを追求したエリア	1	2	3	4	5
	④ 子どもから高齢者まで幅広い世代が楽しめる、多様な機能やにぎわいのあるエリア	1	2	3	4	5
	⑤ 現在不足している駐輪場や送迎車スペースを優先的に確保し、交通機能を充実させたエリア	1	2	3	4	5
※その他、施設等への要望がある場合は「問16」にご記入ください。		必要	やや必要	どちらとも いえない	やや不要	不要
洋光台駅前エリアに必要なもの	⑥ 日常生活に必要な物品を調達する施設（惣菜店・デリ、ディスカウントスーパー、服飾・雑貨店など）	1	2	3	4	5
	⑦ 気軽に食事や休憩ができる飲食店（ファミレス、ファストフード、フードコートなど）	1	2	3	4	5
	⑧ 友人や家族、ひとりでゆったりくつろげるおしゃれな飲食店（レストラン、カフェなど）	1	2	3	4	5
	⑨ 夜にお酒も楽しめる飲食店（居酒屋、バーなど）	1	2	3	4	5
	⑩ 子ども向けの店舗・施設（子ども用品店、屋内の遊び場、おむつ替え・授乳スペースのある施設など）	1	2	3	4	5
	⑪ 在宅ワークや学習などが自宅以外でもできる場所（コワーキングスペース、自習室など）	1	2	3	4	5
	⑫ 趣味や余暇活動の幅が広がる施設（カルチャーセンター、市民ギャラリーなど）	1	2	3	4	5
	⑬ 洋光台での移動を便利にする新交通システム（カーシェア、シェアサイクル、オンデマンドバスなど）	1	2	3	4	5

ここからは、現在同居されているご家族や同居人についてお伺いします。

単身世帯・共働き世帯などのそれぞれのニーズやご要望を把握し、洋光台の今後のまちづくりに役立てるためにお伺いします。ご回答いただきました内容は全て情報の取り扱いに十分留意したうえで統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることはございません。ご協力をお願いいたします。

問 14-1：あなた（記入者）を含めた同居されている人数をご記入ください。

 人

問 14-2：お住まいになっている方お一人ずつのことについて各欄にご記入ください。

	A	B	C	D	E	F
① 世帯主との続柄	世帯主 (代表者)	世帯主の 配偶者	1. 子 2. 孫 3. 父母 4. 兄弟姉妹 その他親族 5. 知人・友人	1. 子 2. 孫 3. 父母 4. 兄弟姉妹 その他親族 5. 知人・友人	1. 子 2. 孫 3. 父母 4. 兄弟姉妹 その他親族 5. 知人・友人	1. 子 2. 孫 3. 父母 4. 兄弟姉妹 その他親族 5. 知人・友人
② 記入者 (○を記入)	現在記入をされている方の欄に○をお願いいたします					
③ 性別	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女	男・女
④ 年齢 (数字を記入)	才	才	才	才	才	才
⑤ 通勤・通学の有無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
⑥ 洋光台のまち ですぐず時間 (家で生活する 時間を含む)	平日	約 時間	約 時間	約 時間	約 時間	約 時間
	休日	約 時間	約 時間	約 時間	約 時間	約 時間
例：洋光台のなかで1日を過ごす人は「約 24 時間」、通勤のため洋光台駅を8時に出て20時に着く人は「約 12 時間」						

問 15：洋光台のまちの魅力や良いところ、自慢できることを、ご自由にお書きください。

問 16：日頃お困りのことや、解決したいまちの課題・ご提案などを、ご自由にお書きください。

※同封の「洋光台プロジェクト」資料もぜひご覧ください

問 9・問 11 洋光台北団地のリニューアル



集会所前サンクンガーデン



芝生広場



問 12 まちまど、CC ラボ



問 13

「洋光台駅前エリア」の範囲

問 9・問 10 洋光台中央団地の広場



洋光台エリアの概要

所在地 神奈川県横浜市
磯子区洋光台
事業主体 日本住宅公団
計画面積 207.5ha
事業手法 土地区画整理事業
事業期間 昭和41年～48年
入居開始 昭和45年
計画戸数 8,558戸
計画人口 3.3万人



鉄道/横浜駅20分 東京駅50分
道路/横浜横須賀道路
日野ICまたは港南台IC



1972年UR掲載資料より(当時の空撮)



2014年撮影



洋光台クラフトマルシェ (洋光台中央団地)



小さなフェスティバル (洋光台北団地)



ハロウィン de プレイパーク (洋光台駅前公園)

洋光台の取り組みが本になりました

洋光台まちづくり協議会、神奈川県、横浜市、UR都市機構等と有識者で構成する「洋光台エリア会議」での10年間の取り組みを本にまとめ、出版しました。

2011年から2021年のさまざまな取り組みや地域の活動、洋光台まちづくりアンケート詳細などをご紹介します。興味のある方はぜひお読みください。横浜市の各図書館でも貸出中です。

書籍名：『郊外住宅地の再生とエリアマネジメント 団地をタネにまちをつなぐ 横浜・洋光台の実践』
編著：洋光台エリア会議
監修：小林重敬氏（一般財団法人森記念財団理事長・横浜国立大学名誉教授）
発行所：株式会社学芸出版社
価格：定価2200円+税 仕様：四六版（128×187mm）、P256 出版日：令和4年4月



洋光台でのさまざまな取り組み

洋光台エリアでは洋光台駅周辺や団地を核としたまち全体の魅力向上(エリアマネジメント)、「集まって住む」団地ならではの新たなすまい方の提案を目指して、「ルネッサンス in 洋光台」が進行中です。

洋光台では、地域にお住まいのみなさん、地域で活動しているみなさん、施設や店舗などのみなさんが行政(横浜市・神奈川県)やUR都市機構等と連携して、多くの活動に取り組んでいます。

アドバイザー会議、エリア会議、そして団地の未来プロジェクトにて、活動する空間づくりや活動の情報発信拠点づくりが行われ、もともと地域に根付いていた活動のパワーがどんどん大きくなってきています。そしてそれが「ルネッサンス in 洋光台」の新たな魅力になっています。中面のプロジェクトマップを参考にまちに出かけてみて、洋光台の魅力に触れてみてください。

同封している洋光台まちづくりアンケート調査は、洋光台のみなさんの声をたくさんお聞かせいただき、今後のまちづくりに活かしていくために行います。ぜひご協力をお願いします。

プロジェクト実施の体制

アドバイザー会議 (H23.12~H24.12)

多様な分野の専門家からのアドバイス

UR都市機構	建築家 隈研吾※2	クリエイティブディレクター 佐藤可士和	
社会学者 上野千鶴子※3	東京大学教授 大月敏雄	千葉大学教授 広井良典	横浜市環境未来都市推進担当理事 信時正人



※1アドバイザーの役職は当時 ※2 Photo (C) J.C. Carbone ※3 撮影 菅野勝男

エリア会議 (H24.5~)

エリアマネジメント体制構築に向けた関係者協議の場づくり

横浜国立大学名誉教授 森記念財団理事長 小林重敬	慶應義塾大学名誉教授 大江守之	東京大学大学院特任教授 中村文彦
洋光台まちづくり協議会	神奈川県	横浜市
		磯子区
		UR都市機構



アドバイザー会議・エリア会議についてはルネッサンスin洋光台WEBサイトをご覧ください
https://www.ur-net.go.jp/chintai_portal/rebuild/yokodai/index.html

団地の未来プロジェクト (H27.3~)

「アドバイザー会議」と「エリア会議」という2つのディスカッションが両輪で行われ、その成果や継続して議論されてきた検討事項をひとつずつ具現化していくプロジェクトとして始動。

団地の未来プロジェクトは、ディレクターアーキテクトに隈研吾氏、プロジェクトディレクターに佐藤可士和氏を迎え入れ、団地ならではの「集まって住むパワー」、様々な方の考えや取組みをとり入れながら進めていく「オープンイノベーション」をキーワードに取組みを進めています。



左から 隈研吾氏、UR西理事長(当時)、佐藤可士和氏

洋光台プロジェクトマップ

「ルネッサンス in 洋光台」や「団地の未来プロジェクト」で実施した取り組みのほか、地域の活動やこれからの取り組みについて記載しています。

洋光台北エリアリニューアル

2020年に集会所や屋外広場などのリニューアル、施設の整備などを行いました。集会所前のサンクン広場や芝生の屋外広場などでは日常の憩いの場としてだけでなく、多くのイベントが行われるなど新たな賑わいが生まれています。

1 団地の集会所 - OPEN RING - 2020.11完成



2 団地のカフェ 2020.5オープン



3 団地のライブラリー 2020.11開設



4 屋外広場・住棟ファサード改修 2020.11完成 (先行工区)



洋光台北 団地再生事業

洋光台北団地には当初から3棟の高層棟がありましたが、順次建替え事業を進めています。新たな共用部の提案や施設等の導入を検討しており、多彩な活動が生まれることを期待しています。

5 1-11号棟 建替え 団地のラウンジ・ストレージ 2021.3完成



これから 洋光台北高層棟建替え

1-11号棟は建替えて足元にコミュニティ形成に資する施設等の導入を、3-19号棟は既存棟を除却して土地賃貸により高齢者施設を誘致する予定です。

芝生広場でのさまざまなイベント

5 3

洋光台まちづくり協議会

2003年に連合自治町内会の下部組織として立ち上げられました。21世紀に向け、まちの将来を担う子どもたちに夢を希望を期待させ、住人が望む豊かなまちづくりと住みよい生活環境の実現を目指して活動中です。プレイパーク活動も青少年夢環境部会のメンバーが担っています。(エリア全域で活動中)

これから シェアスペースの立ち上げ

「食」をきっかけとしたシェア空間の立ち上げが、2023年1月に行われたヨコハマ市民まち普請事業で採択されました。詳しくは同封のチラシをごらんください。(2023年夏完成予定)

Happy★ハロウィン in 洋光台



防災講座・防災授業



横浜市洋光台地域ケアプラザ

福祉機能だけの施設と思われがちですが、多目的ホール・調理室・ボランティアコーナーなどの貸室もあり、多世代に向けた活動も展開中。特定の世代やテーマを対象にした活動から多世代交流や活動団体同士の交流を目的とした活動まで、幅広く展開をしています。お気軽にお立ち寄りください。

これから 市営洋光台住宅の建替え

「洋光台駅から連なる団地と周辺のまちをつなぐ共同住宅」をコンセプトに建替えを進めています。地域の人々が集い活動できる豊かな共用空間の創出も計画されています。

トンボ池 自然観察教室



6 洋光台中央広場改修 2018.6完成

建築家隈研吾氏デザイン監修によりリニューアルしました。リニューアルされた洋光台中央広場では、「団地のマルシェ 洋光台クラフトマルシェ祭」や「Happy★ハロウィン in 洋光台」などのイベントが実施され、多くの方が訪れています。



7 洋光台まちの窓口「まちまど」 2019.5開設

2019年より地域の情報収集・発信拠点の役割を担う「まちまど - 洋光台まちの窓口」が洋光台中央団地の新設デッキ2階に開設しました。隣には2014年に開設した地域コミュニティ活動の拠点「CCラボ」があり、さまざまな活動が実施されています。



8 クラフトマルシェ 2018.6オープン

洋光台中央団地の広場に面してデッキを設けた13-5号棟2階には、クラフト系クリエイターの店舗による「クラフトマルシェゾーン」を開設しています。



地域活動連携





洋光台では、各自治会開催の夏祭りや駅前公園で開催されているプレイパークなどさまざまな地域活動が行われています。このような活動と連携し、さらなる団地・地域の活性化を目指します。



② 第3回 アンケート まちの満足度に与える要因・自由記載の傾向

アンケートで寄せられた自由意見には、通常の○×式アンケートでは得られない多くの示唆が含まれています。そのため「まちの満足度」に影響を与える要因を探る重回帰分析、自由記載の内容の傾向等をつかむテキストマイニング分析を行いました。まず回答者を個人や世帯の特性をもとに4つのグループに分け（クラスター分析）、それぞれのグループごとに特徴をまとめています。

* 重回帰分析は横浜国立大学有吉亮特任准教授に、テキストマイニング分析は横浜国立大学鶴見裕之教授にご協力をいただきました。

グループ	重回帰分析 (満足度に影響を与える因子)	特徴語*とご意見の例
A: 第一世代グループ  回答者数 480人 平均居住歴 44年 平均世帯主年齢 73歳 持ち家率 70% 平均世帯人数 1.9人 [想定される世帯イメージ] ・70代夫婦二人暮らし、まち開きとともに居住 ・洋光台で子育て、子どもはとくに独立 ・ずっと洋光台に住みたい	※数字は「まちへの愛着」を1.000とした標準化偏回帰係数 まちへの愛着 1.000 利便性 0.754 まちの雰囲気 0.612 防災・地域コミュニティ 0.418 子育て環境 0.383 医療・福祉 0.293 「利便性」の影響度が高い	「住む」「老人」「緑」「行く」「若い」「進む」「感じ」・・・ 住んでよかった、が・・・ ・北団地に住んで50年、横浜港や富士山なども見え、住んでよかったが、最近は上下階の移動がづらい 老人に必要な〇〇を ・坂が多く、配達サービスなどの充実が必要
B: ファミリーグループ  回答者数 437人 平均居住歴 13年 平均世帯主年齢 48歳 持ち家率 73% 平均世帯人数 3.6人 [想定される世帯イメージ] ・40代夫婦+子ども2人(中学生と小学生) ・第一子の誕生を機に洋光台でマンションを購入	まちへの愛着 1.000 まちの雰囲気 0.580 子育て環境 0.514 利便性 0.442 防災と地域コミュニティ 0.350 医療・福祉 0.072 「まちの雰囲気」「子育て環境」の影響が「利便性」より強い	「子供」「世代」「道」「暗い」「嬉しい」「飲食店」「小さい」「ベビーカー」「家族」・・・ 子供が遊ぶ公園や広場への意見 ・公園がたくさんあって助かる ・ボール遊びできないなど、遊び場があるようでない。 若い世代に必要な〇〇を ・年々若い世代向けのお店が減っている
C: 転入シニアグループ  回答者数 374人 平均居住歴 18年 平均世帯主年齢 68歳 持ち家率 40% 平均世帯人数 1.7人 [想定される世帯イメージ] ・60代夫婦二人暮らし ・子どもの独立を機に洋光台の団地に住み替え ・昨年、現役を引退	まちへの愛着 1.000 利便性 0.623 まちの雰囲気 0.603 防災と地域コミュニティ 0.500 子育て環境 0.375 医療・福祉 0.011 「利便性」と「まちの雰囲気」が拮抗している	「気軽」「残念」「場所」「街」「店」「散歩」「北団地」「便」「考える」「友人」・・・ 気軽に〇〇できる場を ・誰でも気軽に立ち寄れる憩いの場があるとよい ・高齢者が気軽に集えるイベントがあるとよい 〇〇がない、〇〇な人が残念 ・モラルの低い人がいて残念 ・ちょっと一杯ができず残念
D: 転入勤労グループ  回答者数 197人 平均居住歴 5年 平均世帯主年齢 46歳 持ち家率 23% 平均世帯人数 1.5人 [想定される世帯イメージ] ・40代男性一人暮らし ・転勤に伴い、最近洋光台の団地に入居 ・近所付き合いはあまりない ・定住志向は低い	まちへの愛着 1.000 利便性 0.518 まちの雰囲気 0.381 防災と地域コミュニティ 0.319 子育て環境 0.123 医療・福祉 0.053 「まちへの愛着」の影響度が突出して強い	「駅前」「スーパー」「増える」「集まる」「安い」「治安」「古い」・・・ 駅前を評価する声と、充実を望む声が半々 ・駅前の団地住まい、利便性がよく引っ越せない ・駅前にスーパーしかなく食材以外の買い物に不便 ・駅前に買い物用の駐輪場が必要

第3回 洋光台まちづくりアンケート 結果報告

「洋光台まちづくりアンケート」は、まちの評価・満足度を様々な角度から捉え、洋光台プロジェクトの効果を検証するためのものです。2013(第1回)より3年ごとに実施し、今回は4回目になります。

毎回、多くの方々にご協力いただき、特に自由意見欄には、回答者半数近くの方々から数多くの貴重な意見が寄せられました。

この資料では、直近の2019年に実施した第3回アンケート結果の一部を要約しています。

※より詳しい内容をUR都市機構HP内「ルネッサンス in 洋光台」ページに掲載しております。ぜひご覧ください。



【アンケート概要】

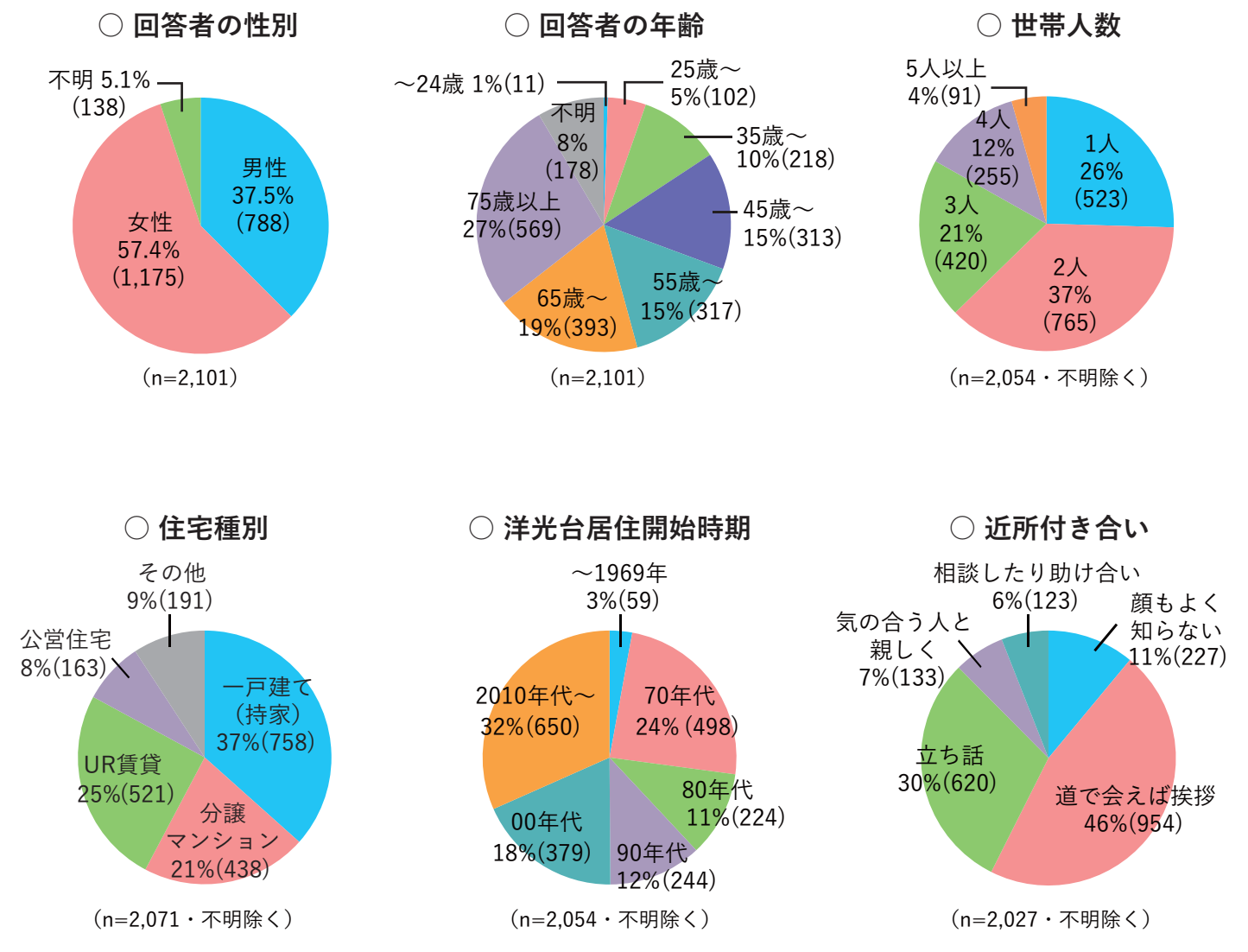
配布： 洋光台1～6丁目及び県営日野団地 約12,000戸 (ポスティングにて全戸配布)

回収票： 第1回 15.9% (1,721票)
 第2回 11.7% (1,346票)
 第3回 17.2% (2,101票)

自由記載： 第1回 51.0% (878 / 1,721票)
 第2回 37.4% (508 / 1,346票)
 第3回 46.7% (982 / 2,101票)

① 第3回 アンケート 単純集計結果 (2019年実施)

● 回答者の属性など



アンケートにお答えいただくと 抽選でプレゼントが当たります！

「第4回 洋光台まちづくりアンケート」にお答えいただき、回答者プレゼントにお申し込みいただくと、抽選で50名の方にプレゼントが当たります。ぜひ、ご応募ください！

① よこはま動物園・金沢動物園
共通年間パスポート 2枚

5名様



② ルネッサンス in 洋光台の
取り組みに関する書籍

10名様

書名：『郊外住宅地の再生とエリアマネジメント
団地をタネにまちをつなぐ 横浜・洋光台の実践』



③ Quo カード 1000 円分

35名様



応募方法・注意事項など

- アンケート票に回答を直接記入された方は、切り取り線以下の応募券に必要事項を記入し、応募券をアンケート票と一緒に返信用封筒に入れてください。
- WEB 上で回答をされる方は、回答ページの最後にプレゼント申し込みの有無を確認するページがありますので、そちらからお申し込みください。
- 抽選は令和5年7月下旬に実施し、プレゼントの発送は令和5年8月上旬を予定しています。
- 当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。
- 応募券や WEB 上に記載された個人情報は今回のプレゼント抽選・発送のみに使用します。
- 本件に関するお問い合わせは
アンケート調査受託者（株）ディーワーク 03-3801-8195（担当：相川）までご連絡ください。

----- (切り取り) -----

プレゼント応募券

氏名

住所

希望賞品

番

電話番号

※賞品不着時に使用します

なにからやろう？

～家庭でできる
脱炭素行動～

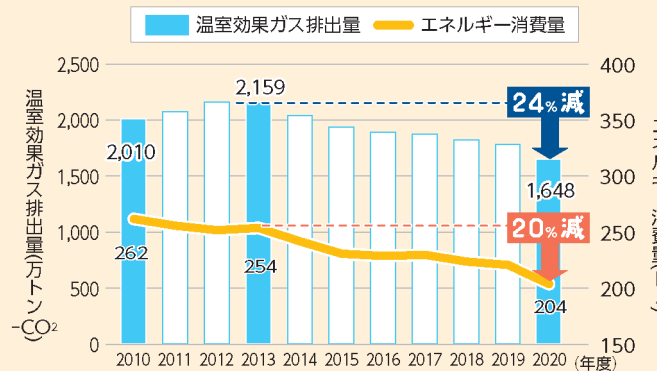
■地球温暖化の影響は様々なところに…



■温室効果ガス削減目標

目標年度 (目標年)	2030年度	2050年
基準年度 (温室効果ガス排出量)	2013年度 2,159 万トン-CO ₂	—
温室効果ガス 排出削減目標 (温室効果ガス排出目標量)	50% 1,079 万トン-CO ₂	温室効果ガス 排出実質ゼロ

■市域の温室効果ガス排出量等の推移



「横浜市地球温暖化対策実行計画」

(平成23年3月策定)

横浜市が温室効果ガスの排出の削減などを行うための施策に関する事項を定めるもので、令和5年1月に改定し、市民や事業者の皆様と共有する脱炭素社会の実現に向けた「2050年の横浜の将来像」を再定義し、新たな2030年度温室効果ガス排出削減目標50%(2013年度比)を掲げています。

■基本的考え方

2050年の横浜の将来像

Zero Carbon Yokohama

「2050年までに温室効果ガス排出ゼロ
を達成し、持続可能な大都市を実現する」

目指すまちの姿

- 脱炭素が暮らしや地域に浸透しているまち
- 脱炭素を原動力として市内経済が循環し、持続可能な発展を続けるまち
- 脱炭素と、気候変動の影響に対応しているまち



お問合せ先

横浜市温暖化対策統括本部調整課

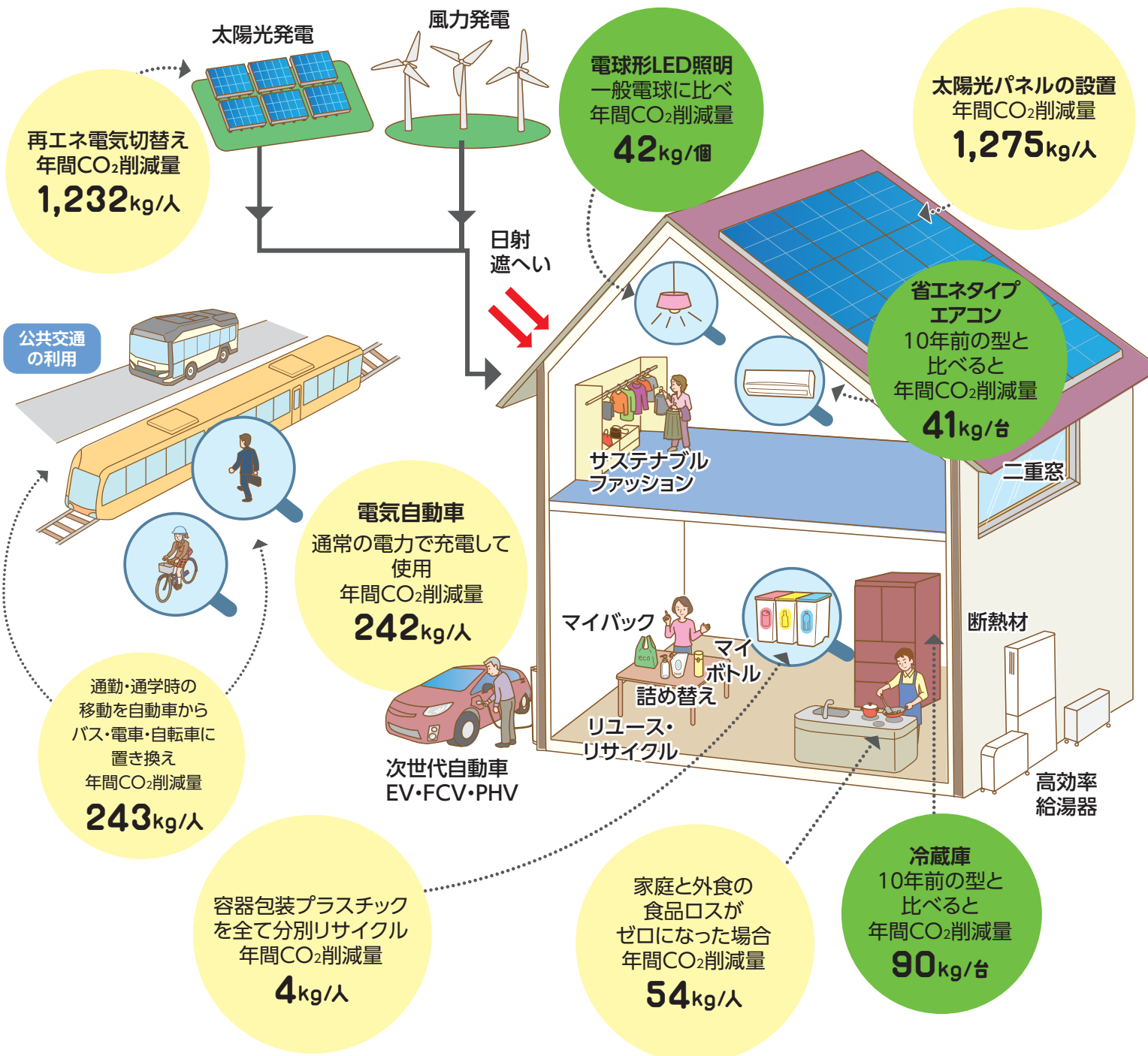
☎ 045-671-2661 📠 045-663-5110

✉ on-chosei@city.yokohama.jp

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/ra/outi.html>



なにかからやろう?～家庭でできる脱炭素行動～



■省エネ行動リスト

行動	年間CO ₂ 削減量	年間節約額
衣類乾燥機は自然乾燥と併用(自然乾燥後の補助乾燥と乾燥機のみを比較)	177.6kg	12,230円
冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に(周囲温度22℃)	27.8kg	1,910円
冷蔵庫にもものを詰め込まず半分程度に	19.7kg	1,360円
暖房(エアコン)を1時間/日短縮(20℃設定)	18.3kg	1,260円
使わないときはトイレのフタを閉める(温水洗浄便座)	15.7kg	1,080円
エアコンのフィルターを1～2回/月掃除する	14.4kg	990円
パソコン使用時間を1時間/日短縮(デスクトップ)	14.2kg	980円
冷房を1時間/日短縮(28℃設定)	8.5kg	580円
テレビを見る時間を1時間/日短縮(32V型)	7.6kg	520円

※上記のリストでは行動の一部を例として紹介しています。

黄色:環境省「ゼロカーボンアクション30」

<https://ondankataisaku.env.go.jp/coolchoice/zc-action30/>

緑色:一般財団法人家電製品協会

「2022年度版 スマートライフおすすめBOOK」

省エネ行動リスト:経済産業省「省エネポータルサイト」

https://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saving/index.html

※緑色と省エネ行動リストのCO₂削減量は、

電力のCO₂排出係数0.45kg-CO₂/kWh(2020年度)を用いて算出

※節約額は31円/kWh(令和4年7月公益社団法人 全国家庭電気製品公正取引協議会 新電力料金目安単価(税込))を用いて算出